



# ラグナキッズの保育について



## \* 年齢にこだわらないクラス作り



ラグナキッズはクラスを年齢だけで分けず、個性・能力に合わせてクラスを構成します。異年齢のお友達と過ごす中で、共に学び合い、助け合いができるクラス運営を行います。

## \* 外遊びへの必要性



四季折々の自然に触れ、お日様の下で外遊びの時間を大切にしています。「今日は暑い」「雨が降っている」「葉っぱが赤くなった」など、自然の変化を感じることで気づきや考える力を育みます。そんな好奇心がある子どもを育てたいと思っています。

## \* 明るくオープンな空間



光が入り見渡せるような空間で保育をしたいと考えております。時には、個人のスペースが必要な時もありますが、できるだけオープンなスペースに身を置くことで、目に見える環境からも広い視野と心で過ごしたいと思えます。

子どもたちの想像力は無限大です。本を読めば動物園に行ったり、宇宙飛行士になったりと、心はどこへでも飛んでいきます。そんな豊かな想像力を育むために、ラグナキッズでは本コーナーを整備し、いつでも興味のある本に手が届く環境を目指しています。おすすめの本があればぜひ教えてください。

## \* 本を読む大切さ



## \* 食への考え方



食は日常生活で非常に重要な要素です。情報過多の現代において、一元的な考えにとらわれず、自然の法則に沿った食事を提供することが大切だと考えます。人間の体の神秘的な力を損なわないよう、私たちは食へのこだわりを大切にしています。

## \* 体験型保育を大切に



保育の時間、じーっと座って聞いているよりも、もの作りをしたり、実験をしたり、踊ってみたり、友達と協力をしたり。子ども自身が動いて体験をするという保育を大切にします。「百聞は一見にしかず」と言いますが、体験をすることで自然の法則もおのずと身につきます。そんな保育を目指します。



## ★ 個性を大切にできる愛のある保育



教育の現場でよく、「個性を大切に」という言葉があります。子ども一人ひとりが持つ素晴らしい「個性」を活かすことが大切だと考えます。同時に子どもたちが社会に出て適応していくことも大切です。つまり、「個性＝自由、なんでもあり」ではなく、自由の中に個性があり、その個性を活かすことができるのは周りにいる大人の「愛情」つまり環境だと考えます。全てが自由でやりたい放題だと大人の社会同様、子ども社会も成り立たなくなります。関わる大人が愛情を持って見守り、導いていくというのがラグナキッズの考えです。大前提で愛情というエネルギーを注ぎ続けることが大切です。その主たるエネルギーの根幹がお父さんお母さんから受ける愛情です。ラグナキッズではその親から受ける愛情の大切さも子どもたちに伝えていきたいと思えます。



当園では、すべてのスタッフが共通の保育理念を大切にし、一人ひとりが同じ想いで子どもたちと向き合えるよう努めています。変化の多い世の中だからこそ、定期的なスタッフミーティングや研修を通じて理念や知識を共有し、チーム全体で成長を目指します。新しいスタッフにも丁寧な研修を行い、保育の考え方を深く理解した上で現場に参加してもらいます。また、『子どもの未来にとって何が大切か』を皆で考える時間を設け、柔軟で心のこもった保育を提供してまいります。

## ★ 関わるラグナスタッフの教育



Lugna Kids  
Preschool